

ずいぶん久しぶりのメルマガです。如何お過ごしでしょうか？

本当に光陰矢の如し。なんと、1年半ぶりの

「ちょっと気になる物事」をお送りします。

夏本番ですが、頑張って参りたいと思います。

さて、今回の「藤田雅彦のちょっと気になる物事」は、

////////////////////

● 気になる国として、

—— 何と言っても、いま一番注目の国、ギリシャを。

● 気になる人物として、

—— 見事に銀メダルを獲得した、なでしこジャパンを。

////////////////////

取り上げてみました。

その前に、

私が事務局長を務める一般社団法人全国経営診断士会が認定する
CBC 経営診断士試験とその対策講座をご案内させていただきます。

一般社団法人全国経営診断士会は、
プロのコンサルタントの養成を継続的に行っている
30年の歴史のある団体です。

毎年6月と12月の第1日曜日に、
CBC 経営診断士の試験を開催していますが、
それぞれの試験に対応した対策講座が大変に好評なのです。

ちなみにCBCとは、
「Certified Business Consultant」の頭文字です。

9月13日（日）に始まり、全5回、
毎回タイプの違う現役コンサルタントが講義（10時から17時）
を行います。
ケースメソッドを採用し、理論と実践が同時に体得できるシステム
です。（アメリカの大学と連携しています）

現在コンサルタントとして活躍されている方はもちろん、

これからコンサルタントを目指す方や保険営業で法人を

担当されている方も十分にご納得いただける内容です。

名刺に「CBC 経営診断士」と入れることにより、士業の方や

FPの方から業務範囲が格段に広がったとのお声もいただいております。

ご興味のある方は、こちらから詳細をチェックしてみてくださいね。

<http://cbca.jp/contents/contents03.html>

さて、それでは本題に。

=====
気になる国 >>>
=====

誰もがいま、一番気になる国が、ギリシャではないでしょうか。

「国が破綻する」という現実を、他人事とは思えず少しだけ冷や冷やする

出来事としてとらえている方もいらっしゃるかもしれません。

ところで、ギリシャという国についてどれくらいご存知でしょうか？

ヨーロッパの南東、バルカン半島最南端部に位置する国で、

エーゲ海を中心に存在する 3,000 もの島によって構成されています。

東にはエーゲ海、西はイオニア海、南は地中海に囲まれている、

リゾート感漂うイメージの国です。

「ヨーロッパ文化のゆりかご」と称されることもあるほど、

哲学、文化、芸術など、ヨーロッパ、アフリカ、アジアの歴史に

大きな影響を与えています。

スポーツでも過去 2 回、近代オリンピックが開催された国です。

2004 年のアテネ五輪は記憶にも新しいのではないのでしょうか。

ギリシャの経済について調べてみると、

人口は、約 1,103 万人

——日本が 1 億 2,790 万人ですので、日本は約 10 倍強の規模。

東京都より少し少ないくらいの人口です。

ギリシャの GDP は、約 2422 億ドル

——日本は、4 兆 9,200 億ドルですので、

日本はギリシャの約 20 倍の経済規模。

主力産業は観光業、海運業、農業、鉱業、工業。

オリーブがの生産量が 200 万トンと、世界 3 位。

地中海性気候ならではです。

数多くの古代ギリシアの遺跡などを目玉に、
ギリシャの三大収入源となっている観光業ですが、
この状況でかなり落ち込むことが見込まれますね。

これから、どのように話し合いが進み、ギリシャがどう
なっていくのか、目が離せない状況です。

=====
気になる人物 >>>
=====

先日、2大会連続の金メダルは逃したものの、
見事銀メダルを獲得した、なでしこジャパン。
詳しい内情はわかりませんが、私は、
澤穂希選手の存在が大きかったのではないかと考えています。
金メダルを獲得した前大会でのスピーチに、
サッカー選手以前に彼女の人間性が表れているように思います。
「私たちのしてきたことは、ただサッカーをするだけではない
ことを意識してきました。私たちが勝つことにより、
何かを失った人、誰かを失った人、怪我をした人、傷ついた人、

彼らの気持ちが一瞬でも楽になってくれたら、

私たちは真に特別な事を成し遂げた事になります。

こんな辛い時期だからこそ、みんなに少しでも

元気や喜びを与える事が出来たら、

それこそが私たちの成功となります。

日本は困難に立ち向かい、多くの人々の生活は困窮しています。

私たちは、それ自体を変えることは出来ないものの、

日本は今復興を頑張っているのだから、

そんな日本の代表として、復興を決して諦めない気持ちを

プレイで見せたかったのです。

これは私たちにとってはまさに夢のようで有り、

我が国が私たちと一緒に喜んでくれるとしたら幸いです。」

ちょうど東日本大震災の後だったこともあり、

彼女たちの活躍は多くの日本人に勇気を与えました。

想いを言葉にできる力は、感動を与えるスポーツ選手にとって、

とても大切な能力であると思ったスピーチでした。

これだけしっかりした選手の背中を見てプレーできる

チームだから、しっかり結果を残せたのではないのでしょうか。

最後まで、お読みくださり、ありがとうございました。

「藤田雅彦のちょっと気になる物事」について

ご意見・ご感想などお寄せいただけると嬉しいです。

なお、本メールに心当たりがない方や、配信を望まれない方は、
「配信不要」と返信いただければと存じます。

生命保険や医療保険、投資信託やNISAのご相談も承ります。